



五月晴の空の下で

5月、市内の小学生たちが田植えの体験学習を行う姿が見られました。

水の張られた田んぼに足をとられて尻もちをついたり、顔に泥をつけたりと、歓声をあげながらのにぎやかな田植えでした。

主な内容

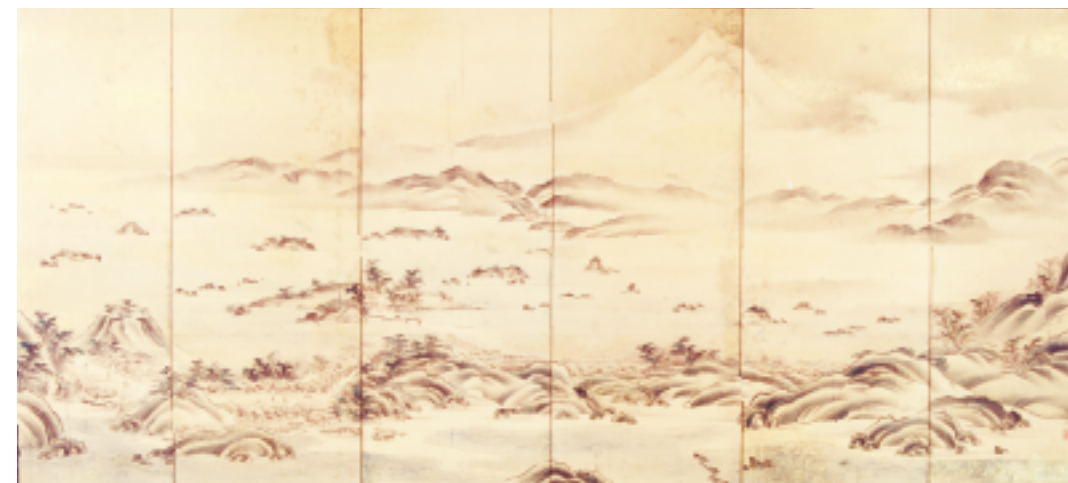
- 戸別所得補償など……………P 2～4
- 改選後の初議会……………P 5
- 金浦地区まちづくり交付金事業…P 6～7
- まちの話題……………P 8～9

vol.113

2010

6.1

<http://www.city.nikaho.akita.jp>



郷土を愛す
 にかほ市
 文化財

象潟郷土資料館・仁賀保勤労青少年ホーム合同企画展

「鳥海山 信仰と文化のかたち」

象潟郷土資料館では、昨年に国指定史跡となった「金峰神社境内」と「霊峰神社跡」に関する資料のほか「象潟の絵屏風」（「にかほ市文化財」参照）を展示し、仁賀保勤労青少年ホーム展示室では七高神社の資料や「小川家文書」（同）の鳥海山信仰関連の記録などを展示します。期間は6月5日から来年の5月22日までです。

企画展初日には次のとおり2館で展示説明会を開催しますので、ぜひご来館ください（入館は無料）。

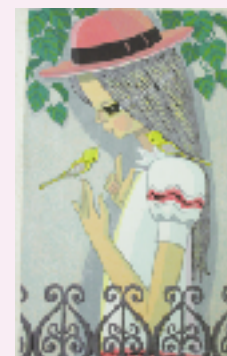
期日 6月5日(土) 午前9時30分
 象潟郷土資料館集合

日程 ▽午前9時30分～開会式（象潟郷土資料館）▽9時40分～10時30分展示説明▽仁賀保勤労青少年ホームへ移動▽11時～11時30分青少年ホーム展示室の展示説明▽閉会後資料館へ移動

解説 齊藤壽胤氏（秋田県民俗学会副会長）

移動 資料館と青少年ホーム間の移動は市バス

問合先 象潟郷土資料館 ☎43-2005



象潟郷土資料館
 池田修三版画展

「夢とあこがれ」同時開催

前期

6月5日～11月14日

後期

11月16日～

平成23年5月22日

象潟の絵屏風 六曲一双 ※写真は右隻

象潟郷土資料館 蔵
 市指定有形文化財（絵画）
 昭和61年1月20日指定

作者の牧野梅仙（1778～1824）は本荘藩のお抱え絵師・牧野永昌の養子。永昌の象潟図屏風（県指定文化財、資料館蔵）が景勝地象潟の趣を重視した装飾的作品であるのに対し、この絵屏風は俯瞰してはいますが、実景の美しさを素直に描いた真景図のような表現形式がとられています。寛政年間、梅仙が20歳前後の作品と推定されます。



小川家文書

仁賀保勤労青少年ホーム 蔵
 市指定有形文化財（古文書）
 平成14年8月9日指定

文政年間から明治3年まで四十数年にわたる院内の小川庄作（1796～1870）の日記を中心とした古文書類で、藩政期における仁賀保地域、とりわけ二千石家にかかわる生活史、政治史として貴重な資料です。

庄作は名主本役の後、大庄屋見習いとして平沢役所に勤務し、その後大庄屋本役となって二千石家の行政執行に尽力しています。



にかほ市は2018/2022 日本招致のチームベースキャンプです。

企画・編集／にかほ市広報委員会 発行／にかほ市役所
 〒018-0192 秋田県にかほ市象潟町字浜ノ田1番地
 ☎0184-43-3200（代表）☎0184-43-7510（直通）
 ホームページアドレス <http://www.city.nikaho.akita.jp> 電子メールアドレス info@city.nikaho.lg.jp

広報 **にかほ** は、にかほ市ホームページでもご覧いただけます